

福山雅治が主題歌/『映画 太陽の子』 脚本・監督 黒崎博、主演 柳楽優弥がラジオに登場！

『福山雅治 福のラジオ』8月7日(土) 14:00～14:55
TOKYO FM はじめ JFN 全国 38 局フルネットでオンエア

福山雅治がレギュラーパーソナリティをつとめる TOKYO FM 『福山雅治 福のラジオ』(毎週土曜 14:00～14:55/TOKYO FMをはじめとする JFN 全国 38 局ネット)では、8月7日(土)の放送回のゲストに、8月6日(金)公開の『映画 太陽の子』脚本・監督の黒崎博、主演の柳楽優弥を迎えます。映画の主題歌を担当する福山雅治と、映画についての想いや見どころ、撮影の裏話をじっくりとご紹介していきます。放送をどうぞご期待ください。



◆福山雅治「長崎出身者として、いつか表現したいと思っていたことがあって。この作品(『映画 太陽の子』)を観た時に、それがやっと誕生した!と思った。感動した。」

8月7日(土)の『福山雅治 福のラジオ』は、太平洋戦争中の“日本の原爆研究”を背景に、時代に翻弄されながらも懸命に生きる若者たちの青春を描く『映画 太陽の子』(8月6日公開)の脚本・監督 黒崎博と、未来のために原子核爆弾の研究開発を進める科学者・石村修役で主演をつとめる柳楽優弥をゲストに迎えます。

楽曲「彼方で」で、映画の主題歌を担当する福山雅治は作品について、「僕も、過去にこの番組で被爆二世であると発言して、その時の反響に感じた違和感と、出身の長崎ではごく当たり前で生きてきたということもあって、2014年にやっと『クスノキ』という歌にすることができました。その後も、どうやってこの経験をエンタテインメントに盛り込んでいくのだろうと、ずっと表現したいと思ってきたますが、この『映画 太陽の子』を観て、やっと誕生した、と思いました。感動しました。とてもいい作品ですね。」と感想を2人に伝えました。福山雅治から、主演をオファーされた時の気持ちを尋ねられた柳楽優弥は「直感でやってみたいと思いました。」と回答しつつ、どんな想いで役と向き合ったか、どのように役作りをしたか、演じていく中でどう変わっていったかなどを紹介。黒崎博監督からは、柳楽優弥がこの役を演じたことについて、幼馴染役を演じた有村架純、弟役を演じた三浦春馬、三者三様の個性について語られました。

番組ではさらに、福山雅治が印象に残ったというあるシーンの撮影エピソードについて、黒崎博監督・柳楽優弥それぞれの視点で紹介。また、着想から12年以上をかけて公開となったこの作品の着想のきっかけとなった黒崎監督とある日記との出会いについても紹介します。『映画 太陽の子』が公開された今、3人が思う「平和とは？」

8月7日(土)午後2時からの放送を、どうぞご期待下さい。

【番組概要】

- ◇タイトル：『福山雅治 福のラジオ』
- ◇放送日時： 毎週土曜14:00～14:55
- ◇放送エリア：TOKYO FMをはじめとするJFN38局ネット
- ◇番組HP： <https://www.tfm.co.jp/fukunoradio>
- ◇提 供： キューピー、ダンロップ、楽天カード、ワールド・ファミリー

